

《コース専門教育科目 コース専門応用科目》

科目名	学童保育研究				
担当者氏名	早川 淳				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	4年・秋期

《授業の概要》

放課後の子どもの安全・安心を中心に、「子ども放課後総合プラン」が策定され、目的は子どもの健全育成と居場所づくりです。各都道府県で施行されています。子ども達の活動内容、活動方法そして課題を考慮しながら放課後の子ども達の居場所や健全育成に寄与できているのかを考察する。進め方はグループワークを中心に、文献収集し、方法や課題を検討し、問題点を明らかにし、子ども中心のシステム構築に寄与する。

《授業の到達目標》

目標：、児童の放課後活動や保育の理論を理解し、子どもの成長に大きく貢献できる素地と保護者の直面する問題解決への支援や援助に貢献できる実践力を付ける。
 テーマ：子どもの放課後をこちよい居場所づくりを考察する

《成績評価の方法》

- ・平常点（授業の取り組み・グループ作業への成果等）50%
- ・クラスの発表 10%
- ・定期試験 40%

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	授業の総括と学童保育に関する施策	子どもの放課後とはどういったものなのかといった、これまでの施策や現在の施策の比較検討していきながら、学童保育と放課後子どもクラブとの違いなどを学んでいく
2	学童保育の現状と教育的課題	今までの学童保育の現状を考察しながら、子どもにとって、どのような放課後を過ごせばいいのかを検討しながら学習する。
3	学童保育の海外での活動	海外での学童保育の活動を紹介しながら子どもにとって、どのような活動が子どもにとって成長につながるかを検討しながら学習する。
4	学童保育の歴史	学童保育ができたのは第二次世界大戦時である、それからどのような展開で学童保育が施行されるようになったのかを学んでいく。
5	学童保育の施策をめぐる動向	学童保育の施策について、これまでの施策を振り返りながら、子どもや保護者の役割とを考慮しながら施策の検討をしていき、どのような施策が役に立つのかを学習する
6	学童保育指導員に関わる問題と課題	放課後の学童や子どもクラブでの指導員の問題を検討しながら子どもにとってどのような指導員がいいのかを検討し、考察していく。
7	運営主体と施設について	学童保育や子どもクラブの運営主体が一番問題になっている、場所の広さと子どもの数、他のクラブとの問題など、これらの問題点を検討しながら考察していく。
8	特別な支援を要する児童の理解と支援	特別な支援を要する発達障害などの子ども達への支援の方法を検討し、考察していく。
9	特別な支援を要する児童の理解と支援	特別な支援を要する身体障害児などの子ども達への支援の方法を検討し、考察していく。
10	児童支援について、指導員の役割について	子どもの放課後を実りあるものとしていくための支援についてをディスカッションしてまとめていきながら指導員の役割についても検討加えながら考察していく。
11	学童保育と居場所について	教育的課題になっている「子どもの居場所とは」について検討と考察して、子どもが喜んでくれる居場所について考察していく。
12	都道府県の良い実践事例検討 1	子どもプランが施行され、各都道府県が責任をもって放課後の子どもの活動を施行しているためそれぞれ活発に活動している地域を各自調べて発表する。
13	市町村の良い実践事例検討 2	同様に、各市町村の学童保育の事例について各自調べて発表する。
14	学童保育の活動実践の教材作り	今まで学んできたものを考慮しながら学童保育での教材づくりを発表し、ディスカッションして、さらに、子ども達にとって良い教材を考察していく。
15	まとめと今後の課題	まとめと今後の課題について考察する

《テキスト》

授業に応じてプリントを配布します。

《参考図書》

学童保育と子どもの放課後 増山均 新日本出版社

《授業時間外学習》

「放課後子ども総合プラン」の問題点は子どもの立場で策定されていない。利用する子どもや地域社会に寄与するものを考察するには、各都道府県の実践事例を検討し、考察する。【予習】には、文献や資料の収集とそれを分析して参加して下さい。【復習】としては、文献や情報を収集し、分析して考察してください。

《備考》